

# くすりのしおり

注射剤

2026年03月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 製品名：フィブリノゲンHT 静注用1g「JB」

主成分：乾燥人フィブリノゲン(Freeze-Dried human fibrinogen)

剤形：注射剤

シート記載など：



## この薬の作用と効果について

血液を凝固させる成分（フィブリノゲン）を補充することで出血傾向を改善します。

通常、先天性低フィブリノゲン血症、産科危機的出血および心臓血管外科手術における出血に伴う後天性低フィブリノゲン血症の治療に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。溶血性・失血性貧血、免疫不全、免疫抑制状態がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、静脈内に注射します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にお聞きください。

## 生活上の注意

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

副作用として、寒気、発熱などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、喘鳴（ヒューヒュー音）、胸内苦悶 [アナフィラキシーショック]
- ・局所の痛み、圧痛、紅斑 [血栓塞栓症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・この薬は、日本で採血された血液が原料となっています。血液を原料とした製剤であることから、ウイルスを不活化するための加熱処理やウイルスを取り除く処理を行っており、これらの処理が行われた現在の製剤によるウイルス感染は確認されていません。しかしながら、血液を原料としていることによるウイルス感染などの可能性を完全に否定することはできません。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。